

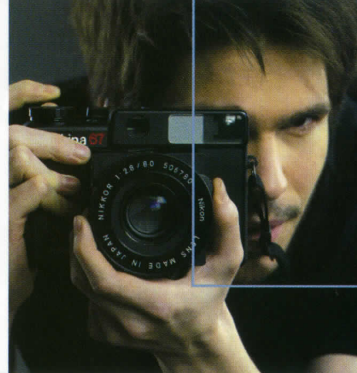
# 私の知らない

Celle que vous croyez



恋は最強の美容液だ。  
それがたどえ偽物だったとしても

# わたしの素顔



69<sup>e</sup> Internationale  
Filmfestspiele  
Berlin  
Berlinale Special  
Gala

第69回 ベルリン国際映画祭  
スペシャルガラ出品

DIAPHANA FILMS PRÉSENTE  
**JULIETTE BINOCHE**  
UN FILM DE SAFY NEBBOU  
FRANÇOIS CIVIL NICOLE GARCIA  
D'APRÈS LE ROMAN DE CAMILLE LAURENS

AVEC LA PARTICIPATION AMICALE DE GUILLAUME GOUTY CHARLES BERLING JULES GAUZELIN...  
CINÉMA FRANCE TV CANAL+ SCOPE! [K] [E] PLAYTIME \*BeesFrance

映画『私の知らないわたしの素顔』公開記念キャンペーン実施中!

## ガレットリア

映画をイメージした  
期間限定メニューが登場!

Claire(クレール)とClara(クララ)の2面性を  
2つの味に分けて表現しました。生クリーム  
とイチゴジャムのクレープ、生クリームと柚  
子ジャムのクレープ、の2種になります。

価格:ドリンクとセットで1600円(税込)  
期間:1/17(金)~30(木)  
住所:渋谷区松濤1-26-1 TEL:03-3467-7057  
<http://www.many.co.jp/galetteria/>



## 東急百貨店本店 和洋酒売場 <THE WINE>

デイリーワインからプレミアムワインまで幅広い品揃えの  
<THE WINE>。映画公開記念でご紹介するのは、「Le Petit  
Parisien ル・プティ・パリジャン」。ワインが大好きなパリっ子  
達のために、「パリでワインを造る」という誇り高いプロジェ  
クトの元で、パリ3区で醸造されているワイン。バゲットを抱  
えた男子のエチケットが目印です。

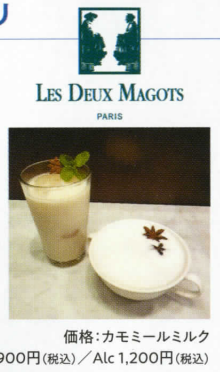
鑑賞チケットの半券ご提示で10%OFF!  
期間:1/17(金)~ル・シネマでの上映期間中  
対象商品:ル・プティ・パリジャン 2,750円(税込)  
場所:東急百貨店本店 B1F 和洋酒売場<THE WINE>  
TEL 03-3477-3582(直通)



## ドゥ マゴ パリ

熱さと冷たさを併せ持つ主人公をホット  
とアイスドリンクで表現。リングを思わせ  
るオーガニックカモミール(自分)をミル  
クと自家製のオレンジカモミールシロ  
ップ(もう1人の自分)がやさしく包み込む  
ような味わいです。フランスでは万能薬  
と重宝されているカモミールは、心を落  
ち着かせる効果があるとされています。

期間:1/17(金)~ル・シネマでの上映期間中  
場所:Bunkamura 1F&B1F  
TEL:03-3477-9124



## CourantSpur (クラン・シュプール)

フランス式骨格矯正で新しい美を手に入れる!

筋肉・筋膜・骨格を動かしていく筋膜矯正マッサージ、生  
の白ゴマオイルを使用し強めのマッサージが人気のク  
ラン・シュプールでは、映画公開を記念して、「わたしの素  
顔」=フェイシャルのお得なキャンペーンを実施します。

鑑賞チケットの半券ご提示で、  
人気メニュー【シュプールフェイシャル】を20%OFF!  
期間:1/17(金)~2/16(日)  
●恵比寿店 渋谷区恵比寿南3丁目11-10-101 TEL:03-6303-2431  
●表参道店 港区南青山4丁目17-51 TEL:03-6317-1622  
<http://www.courant-spur.com/>



## Event

フランス紅茶  
ジャンナツ  
ティーキャラバン

ティーキャラバンに出会った方には、一杯の紅茶をプレゼント!

ジャンナツのルーツである南フランスの港町マルセイユから来た  
黄色のティーキャラバン。一日限り、渋谷・東急本店に「上陸」です。  
日時:1/18(土)10:30~18:00予定 ※無くなり次第終了  
場所:東急百貨店本店 1階正面口 特設スペース



## 渋谷Bunkamuraル・シネマ 来場者プレゼント

1/18(土)にご来場のお客様の中から抽選で、中国茶にローズの花びらをちりばめた気品のあるブレンドティー「ユニコーカ」  
50g入缶をプレゼント! (提供:株式会社オーバーシーズ) ※詳細は映画公式HPまたは劇場にて



監督:サフィ・ネブー 出演:ジュリエット・ビノシュ、ニコール・ガルシア、フランソワ・シビル、マリオン・アンジュ・カスター 2019年/フランス/101分/シネスコ/カラー/字幕翻訳:原田りえ  
配給:クレストインターナショナル 原作:Celle que vous croyez (Who you think I am / 2016年刊行 ガリマル出版社) ©2018 DIAPHANA FILMS-FRANCE 3 CINÉMA-SCOPE PICTURES

2020年  
**1/17 (金) ロードショー**  
特別鑑賞券¥1,500円(税込)絶賛発売中!



渋谷・東急本店ヨコ  
**Bunkamura ル・シネマ**  
03(3477)9264 [www.bunkamura.co.jp](http://www.bunkamura.co.jp)

右記劇場窓口でお買い求めの方に、フランス発100%ナチュラルコスメブランド  
「NOVEXPERT(ノベクスベル)」のサンプルセットをプレゼント。(数量限定) 提供:ヒオロブ株式会社

■1/18~[千葉]キネマ旬報シアター ■2/8~[神奈川]横浜シネマ・ジャック&ベティ ■2/14~[愛知]伏見ミリオン座 ■2/15~[神奈川]川崎市アートセンター  
■2/21~[大阪]シネ・リーブル梅田 ■2/29~[京都]京都シネマ 他順次公開。公式サイトにて随時更新。



# 女は理性が知らない動機を持っている。究極の大人の女性に贈る映画、ついに誕生!

こんなにも多くを語りかけて来る映画と出会うとは。皮膚と脳、顔と心はつながっています。

バーチャル時代の今こそ、眠っている五感を信じることの意味を問いかける本作、年齢に関係なくぜひ2回は見て頂きたい。

佐伯チズ (国際美容家/美肌師)

主人公の色気をおびた肌、髪ツヤに心の動きを垣間見た。女性はバーチャルだとしても心に火がともった瞬間に美しくなる生き物なのかもしれない。

小林ひろ美 (美容家)

加齢の呪縛を解き放つ恋の妄想は、女にとっての生きる力。それが危うさを伴っても、否定する気持ちにはなれなかった。女は誰でもクレールになりうるのだから。

天野佳代子 (美的GRAN編集長)

SNSはさびしさに付け込んで、人の心をおかしくさせる。恋はもとより病だが、それを重篤化させる。とても現代的でスリリングな映画!

山内マリコ (作家)

女はなぜ“嫉妬という感情”に、まるで自傷行為のように自ら没入していくのだろうか? 静かな狂気が幾重にも折り重なって、見る者を攻め立て、纏わり付いて、そして虜にする!

齋藤 薫 (エッセイスト)

(敬称略・順不同)



地下鉄の窓に映った自分の顔を見て、思わず目をそらす。そんな経験は誰にでもあるはずだ。もう若くもない、けれど老けたつもりもない。それが過信であると思ひ知らされる残酷な瞬間。何百回も話していた名前がすつと出てこない。あれ、あれで話を通してしまっ便利さと同時に身体の中をひんやりと伝っていく恐怖。ちよつとした集まりで周りの人の視線を感じずに自分が透明人間のように映っていると思うとき。磁力が弱い? いや、どれも加齢という女性が恐れている事実が像を結ぶ瞬間だ。植物が芽を吹き、つぼみとなり、満開を迎え、そして萎れていくのが自然の摂理であるように、女も枯れていくのだろうか。盛りを享受したくせに、まだジタバタしようとする。そんな往生際の悪さに困惑しながらも、加齢という言葉を送りしてしまふ。でも…それも人生、自分次第で受け止め方は変わる。枯れるんじゃない。私たちは人生の経験を栄養にして、若さとは違う芳香を放つ輝きを得ていくのだから。『私の知らないわたしの素顔』は、そんなことを少しでも思った人に見てもらいたい映画。一人の成熟した女性が悩み、傷つき、再生していくその姿は、女性なら必ず共感を覚えるはず。

## 「こんなビノシュは初めてだ!」(Le Figaro Magazine) と評された新境地。未だかつて見たことのないジュリエット・ビノシュを見逃してはならない! 熱くて冷たいサイコロジカルサスペンス。

【24歳のクララ】として Facebookで出会った男との恋に溺れる 【50代の大学教授クレール】。彼女はなぜ別人に成りすましたのか? その先に何が待ち受けているのか——?

**STORY** パリの高層マンションに暮らす50代の美しき大学教授クレール。ある日年下の恋人に簡単に捨てられてしまったことをきっかけに、SNSの世界に足を踏み入れる。Facebookで(24歳のクララ)に成りすまし、彼の友人アレックスとつながったクレール。だが、アレックスと(クララ)が恋に落ちてしまったことで事態は思わぬ方向に転がっていく…。

今や押しも押されぬフランスを代表する大女優のジュリエット・ビノシュ。初の主演映画は1985年アンドレ・テシネ監督の『ランデヴー』。女優を目指してパリにやってきた若い女性が、複数の男性と奔放な関係を持つていくという難しい役に挑んだ。ビノシュは、ヌードシーンはもちろんのこと大胆な性描写もあり、20歳過ぎの女優にとっては大きな挑戦だったのちに語っている。この作品の後に、レオス・カラックス監督『汚れた血』(86)、フリップ・カウフマン監督『存在の耐えられない軽さ』(88)に出演、あどけない少女の面影が残る役で注目を浴びた。その後も、恋人となったカラックス監督と再び組んだ『ボンヌの恋人』(91)、ルイ・マル監督『ダメージ』(92)、クシシュトフ・キェシロフスキ監督『トリコロール/青の愛』(93)と巨匠たちの映画に続々と出演。1996年には、アンソニー・ミンゲラ監督『イング

リッシュ・ベイシエント』でついにアカデミー賞最優秀助演女優賞に輝き、ヨーロッパのみならず世界的な女優へと飛躍した。こうして役を“生きる”憑依型女優として、ジュリエット・ビノシュはデビュー作の主人公さながらに大女優への階段を確実にのぼってきた。その後の活躍は映画女優のみならず、舞台、ダンスと多岐にわたり、キャリアは35年以上に及ぶ。大女優カトリーヌ・ドヌーヴと共演した是枝裕和監督の『真実』も記憶に新しいところだ。そんなビノシュの新境地となる映画が、この『私の知らないわたしの素顔』。文字通り素顔も惜しまず披露し、50代の女性が抱える孤独と不安を見事な演技で見せ切って観客を釘付けにする。先ごろもヨーロッパ映画賞で名譽賞に輝き、カンベなしの堂々たるスピーチで場内を沸かせた。ジュリエット・ビノシュの新しい時代の幕開けとなる本作、見逃してはならない。

